

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成18年9月26日(火) 5校時
児 童 男15名 女13名 計28名
指導者 皆川 晃宏

- 1 単元名 生き方・考え方を読み取ろう
教材名 「海の命」

- 2 児童について

昨年度の6学年の国語学習定着度調査結果より、県からは「叙述に即して人物像をとらえる」問題の正答率が低い(36%)ことが示された。また、久慈教育事務所からは、「文章構成や人物像をとらえて読む力」が不足していると出されている。また、PISA調査(読解力)の結果を見ると、教材を正確に読み取った上で、その教材に書かれていることを根拠として自分独自の解釈を述べる問題になると、日本人の無答率が高くなることが明らかとなった。本校の6年生の子供たちを見ても、自分なりの考えをもつことを苦手としている子供が多い。そこで、本教材の学習では、子供たちに「人物像(生き方・考え方)をとらえて読む力」をつけさせるとともに、「読み取った人物像に対しての自分の考えをもつ力」をつけさせたいと考える。

- 3 教材について

教材「海の命」は、海という大きな自然を舞台に、主人公の太一が成長していく姿が描かれている。太一は、成長していく過程で生き方・考え方が大きく変化していく。この変化には、周囲の人々(父、与吉じいさ)や海、瀬の主であるクエの存在が大きくかかわってくる。特に、父を死に追いやった巨大なクエと出会うことによって、太一の生き方・考え方は大きく変化する。父を死に追いやったもの、だからこそ自分の手でしとめなければいけない存在であったクエが、「海の命」そのものとして守るべき存在へと太一の中で大きく変化するのである。そして、「海の命」とともに生き続けるという太一の生き方へとつながるのである。

この太一の生き方・考え方の変化をとらえるための手がかりとなる言葉や行動・様子が各段落にちりばめられている。そのため、子供たちが主人公の生き方・考え方の変化を読み取るとき、様々な読みの視点で読み取ることができる。主人公の表情の変化で読むこともできるし、行動の比較で読むこともできる。また、周囲の人物の言葉から読むこともできる。このことから、本教材は、子供たちが、様々な視点を持って主人公の生き方を読み取るのに適した教材であると考えられる。

- 4 指導にあたって

「人物像(生き方・考え方)をとらえて読む力」、「読み取った人物像に対して自分の考えをもつ力」を子供につけるため、以下のような指導をしていきたい。

- ・「見通す」の段階では、子供たちに太一の人物像(生き方・考え方)を読み取ることへの目的意識をもたせたい。まず、教科書を見せず、教師が読むのを子供たちに聞かせる。そして、瀬の主と対峙する場面までで読むのをいったんやめ、この後のストーリーを子供たちに自由に考えさせる。ほとんどの子供たちは、「父のかたきである瀬の主をたおす」というストーリーを予想するであろう。その後、続きを読んで聞かせる。子供たちは、「なぜ、瀬の主を殺さないのか」疑問をもつであろう。そして、「瀬の主との出会いによって、太一の気持ちが大きく変わったからこそクエを殺さなかったのではないか」という読みの見通しをもたせたい。
- ・「深める」の段階では、「瀬の主に出会うことによって太一の気持ちはどのように変わったのか」というテーマで、読み進めていく。太一の変容をとらえるために、まず、太一の言動をとらえさせ、一つの表にまとめさせる。また、同時に周囲の人々やクエの言動についてもまとめさせる。そして、山場であるクエと対峙する場面に焦点をあてて話し合うことで、「太一の気持ちの変化」について

の子供たちの読みを交流させたいと考える。読みを交流させる際には、単なる出し合いにならないように、どの言葉、行動から読み取ったのか根拠を明確にして話すようにさせたい。

- ・「まとめる」の段階では、太一の考え方がどのように変化したのか、太一の選んだ生き方についてどう思うのか、まとめる活動を行う。もう一度全文を振り返らせ、文中の言葉を根拠としてまとめることを意識させる。
- ・「広げる」の段階では、立松和平の「いのち」シリーズを読み、主人公の人物像（生き方・考え方）について考えをまとめさせ、交流する活動を行う。海の命の学習を通してつけた力、（人物の行動や言葉、周辺とのかかわりから主人公の人物像（生き方・考え方）をとらえる力）を生かして、自分だけの力で本を読み取らせたい。そして、互いの読みを交流させることで、子供たちの考えを深めたり広げたりしていきたい。

5 単元の目標

主人公の生き方・考え方の変化を言葉や行動、周囲とのかかわりから読み取り、それに対する自分の考えを持つことができる。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての知識・理解・技能
・登場人物の生き方・考え方を言葉や行動を根拠に考えたり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	・登場人物の言葉や行動・様子を根拠に主人公の生き方・考え方の変化について読み取るとともに、それについて自分の考えを持っている。（読む能力） ・「生き方」についての自分の考えが伝わるように、工夫して書いている。（書く能力）	・物語の構造について理解している。 ・分からない語句について、辞書を利用して調べている。

7 学習指導計画（11時間）

段階	ねらい	時間	学習活動	評価基準と評価方法
見通す	教材文を読み、大まかな内容をつかみ、学習の見通しをもつ。	1	・太一の生き方・考え方について疑問や感想をもつ。（1）	<p>関 太一の生き方・考え方について進んで疑問や感想をもとうとしている。（発表・ノート）</p> <p>言 5段落で太一の気持ちが大きく変わる構造になっていることを理解している。</p>
深める	太一の生き方・考え方の変容をとらえ、意見を交流する。	3	・太一や周囲の人々の言葉や行動をとらえる。（2）	<p>読 太一や周囲の人々の言葉や行動をとらえ、まとめている。（ワークシート）</p> <p>言 難語句について、辞書を利用して調べている（ワークシート）</p>
			・太一の気持ちが大きく変化した山場について考える。（1）本時	<p>読 行動や言葉、周囲とのかかわりから、太一の気持ちの変化を読み取っている。（ワークシート）</p>

まとめる	太一の生き方・考え方についての自分の意見を、文中の言葉を根拠にまとめ、交流する。	2	・太一の生き方・考え方についての自分の意見をまとめる。(1)	【読】 文中の言葉を根拠に太一の生き方・考え方に対する自分の意見を持ち、まとめている。(ノート)
			・意見を交流する。(1)	【関】 友達の考えと自分の考えを比べながら、進んで意見を交流しようとしている。(発言・ノート)
広げる	立松和平の「いのち」シリーズを読み、「生き方」について自分の意見をまとめ交流する。	5	・立松和平の「いのち」シリーズを読み、「生き方」について自分の考えをまとめる。(3)	【書】 「生き方」についての自分の考えがよく伝わるように、本の言葉を引用するなどして書いている。(ノート)
			・友達と意見を交流し、「生き方」についての考えを深めたり広げたりする。(2)	【関】 友達の考えと自分の考えを比べながら、進んで意見を交流しようとしている。(発言・ノート)

8 本時の指導

(1) 目標

主人公の気持ちの変化を言葉や様子、思いから読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準

概ね満足	努力を要する児童への具体的な手立て
主人公の気持ちの変化を主人公の「行動や様子、思い」を根拠にして読み取っている。 主人公の生き方・考え方について自分なりの感想を持ち、書いている。	・主人公の行動の変化が一番とらえやすいと考えるので、まず、そこに着目させる。

(3) 展開

段階	学習活動	教師の発問()・指示() 予想される児童の反応()	支援と評価
見通す 5分	1 今日の学習課題、読みの見通しを確認する。	今日の学習課題は何でしたか。 瀬の主に出会うことによって、太一の気持ちはどのように変化したのだろう。 何に気をつけて読めばよいでしょう。 ・太一の行動・様子(表情) ・瀬の主に対する思い	・読みの視点、「太一の行動・様子(表情)」「瀬の主に対する思い」を明確にさせる。

深める 30分	2 クエに対する太一の気持ちが大きく変容している場面を確認し、音読する。	クエに対する太一の気持ちが大きく変わっているのは、どの場面ですか。 ・5の場面です。 5の場面をみんなで読みましょう。 ・5の場面を音読	・読みの視点を意識しながら音読させる。
	3 クエに出会うことによって、太一の気持ちがどのように変化したのか話し合う。 (ひとり学び) (学びあい)	瀬の主に出会うことによって、太一の気持ちがどのように変化したのか、考えましょう。 ・太一の表情から 「泣きそうになりながら」から「ふっとほほえみ」への変化。 ・太一の行動から 「鼻づらにむかってもりをつき出す」と「もりの刃先を足のほうにどけ」の比較。 ・クエへの思いの変化から 「追い求めてきたもの、自分の手で倒したいもの」から「海の命として守りたいもの」への変化。 瀬の主に出会うことによって、太一の気持ちは、どのように変化したのでしょうか。	・文中の言葉を根拠としながら、太一の心の変化について考えさせる。 ・何から考えてよいか迷っている児童には、「太一の表情に変化はないですか?」「行動に変化はないですか?」など、個別に声がけをする。
まとめる 10分	4 太一の生き方・考え方について話し合う。	太一は、なぜ、泣きそうになったのでしょうか。 ・この魚(瀬の主)をとらないと本当の一人前の漁師になれないから。 ・父を破った瀬の主を殺したいから。 ・自分に殺されたがっていると思ったほど、大魚がおだやかな目だったから。 ・殺したい気持ちと、殺したくない気持ちで迷っているから。 太一は、なぜ、ふっとほほえんだのでしょうか。 ・大魚(瀬の主)が、この海の命だと思えたから。 ・大魚を殺さないと決めたから。 太一のことをみなさんは、どう思いますか。 ・えらいと思う。 ・父とはちがう考え方だ。 ・瀬の主をとらえたほうがよかったと思う。	・太一の心の葛藤をとらえさせるため、「父を破った瀬の主をずっと追い求めてきた」ことを読み取らせたい。 ・「一人前の漁師」の意味についても考えさせたい。
	5 今日の学習を振り返る。	瀬の主に出会うことによって、太一の気持ちがどのように変化したのかまとめよう。 今日の自己評価と感想(太一についてどう思うか)を書きましょう。	・自由に考えを言わせたい。 ・次時につなげるため、「太一の考え方に対する自分の考え」を簡単に書かせる。

太一の言葉や行動・様子を根拠に、太一の気持ちの変化をとらえているか。

太一の生き方・考え方について自分の考えを述べているか。

太一は、父を破った瀬の主に出会いながら、なぜ、殺そうとしなかったのでしょうか。それは、瀬の主と出会う前と後では、太一の何かが変化したからではないでしょうか。太一の行動・様子を追っていけば、きっと太一の変化に気づくでしょう。

太一の行動・様子

太一のまわり

1 太一と父・瀬の主

「ぼくは、漁師になる。」
海に出るんだ。」
はばからなかった。
太一は、こう言って

父

「大物をしとめても、言うのだった。」
「ロープを体に巻いたまま、」

2 太一と与吉じいさ

「海に」
ら感謝しております。おかげさまでぼくも
悲しみがふき上がってきたが、今の太一は
わたのみに行った。
こうして太一は、
の」
と吉じいさ
になったのだ。

瀬の主

「父のもりを体にさした」
何人がかりで引こつとも
「まるべ」
「のよつな魚。」

3 太一と与吉じいさ

「海に」
ら感謝しております。おかげさまでぼくも
悲しみがふき上がってきたが、今の太一は
わたのみに行った。
こうして太一は、
の」
と吉じいさ
になったのだ。

与吉じいさ

「毎日一本づりに行っている漁師。」
「つりをしながら、独り言のよつに語ってくれた。」
「毎日タイを」
「とると、もう道具を片付けた」
「自分では気づかないだろうが、おまえは漁師だよ。太一、」

4 太一と母

「いかりを下ろし、」
「耳には何も聞こえなかったが、太一は」
「とうとう」
「にやうて来たのだ。」
「瀬にもぐり続けて、ほぼ」
「が過ぎた。」
「二十キロぐらいのクエも見かけた。だが、太一は」

母

「」



5 太一と瀬の主

・追い求めているうちに、不意に）
 ）ものだ。

・太一は海草のゆるる穴のおくに、）
 ）を見た。

）
 ）太一は冷静だった。こ
 れが）
 ）
 村一番のもぐり漁師だった父を破った）
 ）（なのかもしれない。）
 ・鼻づらにむかって）
 ）
 クエは動こうとはしない。

）
 ）（ような
 ）
 気さえした。

・この大魚は）
 ）
 思ったほどだった。これまで数限りなく）
 ）（だが、こんな感情になったのは
 ）だ。
 ）
 ・この魚をとらなければ、）
 ）
 になれないのだと）
 ）
 思う。

・水の中でふっと）
 ）（口から銀の
 あぶくを出した。

・もりの刃先を）
 ）（クエに向
 かってもう一度）
 ）（を作った。
 ）。「おや、ついに来ますから。」
 ）また会
 いに来ますから。」
 ）
 ・この思うことによつて、）
 ）（済んだのだ。）

・大魚は、）
 ）（と思えた。

6 太一のその後

）
 ）（であり続けた。
 ）
 ）（しかとらなないので、
 ）（は全く変わらない。
 ）
 ・巨大なクエを岩の穴で見かけたのに）
 ）（ことは、もちろん）
 ）（話さなかった。

瀬の主

・ひとみは）
 ）（のよう。
 ）
 ）（のような歯。
 ）
 ）（を動かすたび、水が動く。
 ）
 ）（が魚のようだった。
 ）
 ・もう一度もどってきて、）
 ）（太一を見ていた。
 ）
 ）（な目だった。

太一の行動・様子から、太一のどんな気持ち
 ちが読み取れますか。読み取ったことを付
 せん（黄色）に書いて、その場所にはりま
 しょう。

（時間があつたら挑戦！！）

瀬の主との出会いによって太一の気持ちは
 どのように変化したのでしょうか。

変化を見つけたら、で囲み、線で結びつ
 けましょう。

（例）口をしっかりと閉じていた。

口を大きく開けた

どのように気持ちが変わっているのかを付
 せん（ピンク）に書いてはりましょう。

自己評価（何ができたか、できなかったか。
 次はどうしたいか。）

学習の感想